

## 令和5年4月19日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年4月19日（水） 午後3時～午後3時51分
- 2 場 所 10階 1001会議室
- 3 出席委員 金沢智也教育長、白鳥樹一郎委員、中村篤委員、細谷真紀子委員、伊藤洋子委員
- 4 出席者 大沼裕子次長（兼）教育企画課長、横山いずみ教育総務課長、  
細谷直樹次長（兼）学校教育課長、佐藤哲也社会教育青少年課長、  
小関仁美少年自然の家所長、阿部宏図書館長、  
斎藤浩之学校給食センター所長（兼）栄養管理室長、  
志済直史商業高等学校事務長、馬場賢総合学習センター所長、  
事務局（教育企画課及び教育総務課職員）

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 教育委員会及び事務局等の職員紹介
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議 案  
議案第16号 山形市総合学習センター運営協議会委員の委嘱について  
議案第17号 山形・上山地区教科用図書採択協議会委員の選出について
- 5 報 告 事 項  
本のひろばの開設及び利用状況について
- 6 そ の 他
- 7 日 程 等  
(1) 教育委員会の日程について  
(2) 教育委員会主催（共催）の行事について
- 8 閉 会

## 会議録

- 1 開 会 教育長
- 2 教育委員会及び事務局等の職員紹介
- 3 会議録署名委員の指名

教育長…本日の会議録の署名委員だが、白鳥委員にお願いしたい。

<各委員より了承の声>

## 4 議 案

教育長…本日の議事に入る前に「会議を公開しないこと」について、お諮りする。

本日の議案第16号「山形市総合学習センター運営協議会委員の委嘱について」は山形市教育委員会会議規則第7条第1項第2号（附属機関の構成員の委嘱若しくは解嘱又は任免に関する事項）に該当すること、議案第17号「山形・上山地区教科用図書採択協議会委員の選出について」は、同項第1号（職員の任免、賞罰その他の人事に関する事項）に該当する案件であることから、「会議を公開しない」こととして審議してよろしいか。

（全委員、異議なし。）

教育長…それでは、議案第16号及び議案第17号については「会議を公開しない」こととして審議し、その会議録等についても非公開とする。

<以下、非公開>

<非公開解除 以下公開>

## 5 報告事項

教育長…それでは報告事項に移る。「本のひろばの開設及び利用状況について」説明をお願いします。

<図書館長より説明>

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

細谷委員…職員の周回や、本のひろばの整備の回数について伺いたい。

図書館長…現在、周回・整備ともに毎日行っている。

細谷委員…貸出期間が2週間ということだが、本の返却がされているか確認したい。

図書館長…本の返却については、確認がとれていない。2週間を超えての返却となる可能性もあるが、そこまでは追わない方針である。市民の善意に任せているところである。

細谷委員…本は市の財産であると考えている。何らかの返却の促しや、返却数の把握など返却管理についても検討をお願いしたい。

教育長…本のひろばについて補足したい。開設を考えるにあたって、はじめは本が返却されないリスクも確認していた。立ち上げにあたって、皆さんの了解を得ながら山形駅東西自由通路に置くことに決めた。本の返却についてリスクがあるままでいいのかという考え方もあるため、返却管理によって業務が大変にならないことも含め何らかの方法を考えて欲しい。そのような理解でよろしいか。

細谷委員…利用者の声の中に「何日間・何冊まで借りて良いのか分かるようにして欲しい」という声もあった。通りすがりの方にも目に入りやすい看板を作るなどの工夫から、はじめてほしい。それによって返却率も上がるのではないかと考えている。

細谷委員…最後に周囲の安全状況等の確認状況についてはどうなっているか。チェックリストを用いるなどして、安全についても気を配ってほしい。

図書館長…安全管理については万全を期したいと考えている。委員ご指摘の通りチェックリストを用いるなど、よりよい運営に結び付けたい。

伊藤委員…説明の中にあつた「除籍された本」とはどのような本か。

図書館長…図書館で購入後5年が経過した本の中で、貸出し状況を考慮し決めている本（蔵書から引き下げた本）である。

伊藤委員…常時約100冊の本を置くと説明があつたが、100冊に満たなくなった時の対応について確認したい。

図書館長…毎日確認をし、過不足のないようにしている。

伊藤委員…図書館のPRについては、どのくらい達成されたと考えているか。

図書館長…本のひろばや出前図書館を通して、図書館の来館者や貸出しカードの発行枚数が増えることもひとつの目的である。まだ達成状況は不明であるが、目的の達成のためにPRを続けたい。

教育長…余談ではあるが、図書館の地下には資料や本がたくさんある。過去の本を含めて、図書館としてどうしていくかが課題となると思っていたところだ。そのような経過があり、本のひろばのような活用の仕方がされているということについても知って欲しい。

教育長…その他意見や質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

## 6 その他

教育長…委員よりその他意見や質問等はないか。

白鳥委員…教員になる方の減少が続いている。その対策として、例えば東京都では、別校種の免許を取りやすくするため勤務の仕方を工夫したり、離職を少なくするために職場のメンタルヘルス対策を行ったりしている。山形県で行っている教員確保の手立てについて伺いたい。

学校教育課長…山形県では、ペーパーティーチャー講習会（教育免許は持っているが教壇に立っていない人への講習会）を行っている。この講習会には、参加が約80人あったと聞いている。また、採用の工夫も行っている。昨年度行われたものでは、講師等特別選考や元職教員特別選考というものも行っている。他にも大学推薦特別選考を行っていることや、小学校新規採用教員に対して担任を持たせず、学校の流れや事業を覚えてもらうというものもある。また、高校生を対象に小学校の先生の体験を行う事業も行っている。また、山形市でも新規採用から3年目まで、チェックシートによる点検を通して必要があれば産業医との面談をしてメンタル面のフォローしていく取組みをしている。

白鳥委員…県として実施していることがあるのは理解したが、国や県に対して要望を引き続き行って欲しい。次に、令和5年度の特別支援学級と山形市の特別支援指導員の配置状況について伺いたい。

学校教育課長…クラスの人数が6人の特別支援情緒学級に、短時間の再任用教諭が配置されている。市内全部で8クラス、8人の配置となっている。また、特別支援学級の1学級の児童数は、国の基準では8人であるが、山形県では、「さんさんプラン」

により6人としている。「さんさんプラン」により増えた学級数は、小学校16クラス、中学校8クラスである。特別支援指導員の配置状況は、小中併せて40人となっている。市内の児童生徒たちの状況を見ると、小学校で特別支援指導員が入っていない学校が3校ある。また、2名体制の小学校が4校ある。中学校では肢体不自由の生徒が在籍している1校のみ特別支援指導員が配置されている。現状として、各学校から「増員して欲しい」という声があがっているため、全体を見ながらどのような対応ができるか検討している。

教育長…教員不足については、山形県市町村教育長会議において、山形市から「さんさんプラン」の見直しを含めた意見をお伝えしたところだ。

教育長…その他意見や質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…事務局よりその他報告等はないか。

<事務局より「なし」の声>

## 7 日程等

<教育総務課長より教育長及び教育委員の日程及び教育委員会主催の行事等について説明>

## 8 閉会 教育長